

新年のごあいさつ

なごやクラブ名古屋

会長 犬飼 鏖治



新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

今年は「午年」。「午」は馬を表し、力強さや勢いがあり、「うまくい」縁起の良い年であるといわれています。また、「馬」の文字を裏返した「左馬（ひだりうま）」は、「うま」を逆から読むと「まう」「舞」を連想させるおめでたい言葉とされており、このような一年になりますようにと願うところです。

老人クラブのメインテーマは『のばそう！健康寿命、担おう！地域づ

くりを』です。長寿社会といわれる昨今、名古屋市老人クラブが誕生した昭和40年は日本の65歳以上の人口は約6%でしたが、令和5年には30%を超えました。こうした状況の中で、老人クラブの皆さんが高齢者のお手本となり、健やかに、朗らかに、そしてイキキと過ごすことが、地域全体の元気につながるものと考えております。日頃から顔を合わせ、歩いて行けるところに同じ世代の仲間がいることは心の支えにもなり、生活を豊かにできる機会にもつながっていきますので、老人クラブの活動にますます

期待が寄せられています。仲間とクラブ活動をしていると、自然に笑顔になれる「スポーツの大会で良い成績を残すことが、人生の励みになっている」という声を伺います。自分に合った活動を楽しむことは、老人クラブの醍醐味でもあります。

昨年名古屋市老人クラブ連合会設立60周年の年で、還暦を迎えました。Niterra 日本特殊陶業市民会館で「芸能大会」を開催し、「歌って踊って楽しんで、みんなが主役、楽しい仲間」をテーマに、2千名を超える会員の皆さんに楽しんでいただけた大会となりました。今年は61年目、新たな一歩を踏み出します。ひとりではできないけれど、仲間が集まれば

できることもあります。会員が増え、活動の輪が広がることを期待しています。

結びに、会員の皆さまはじめ関係者の皆さまには、日頃からクラブ活動を支えていただき心から感謝を申し上げますとともに、この一年も「うま」いき、喜びや福が「舞」い込む一年となりますようご祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



私たちは、名古屋市老人クラブ連合会の活動を応援しています